



社会福祉
法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2012年(平成24年)10月31日

第56号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒560-0023 豊中市岡上の町2-1-15

TEL (6848) 1000 FAX (6848) 1005

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>

ボランティアグループ
あれこれ

手作り介護用品製作グループ 「小さな手」編



定例活動日にはメンバーが
なごやかに、にぎやかに製作活動
しています！

「小さな手」とは、針仕事が好き・手作りが好き・おしゃべりが好き等の仲間が集まって手作り介護用品を作っているグループです。

毎年、「豊中市老人介護者(家族)の会」の会員さんに送るクリスマスプレゼントの作品を年度始めに考えます。プレゼントの作品は数えきれない位、介護をなさる方の要望をもとにさまざまな作品が生まれました。寝巻ズボン、レッグウォーマー、小物入れ袋、フリースベスト、にぎりっこ、車イス用買い物袋等々。

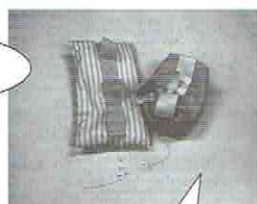
高齢者や障害者の方たちの要望に合わせた介護用品を作ったり、いつもお使いのものをその方のご希望に合わせてリフォームしたりします。

昨年は東日本大震災の支援物資として床ずれ予防のビーズマットや枕を送り喜ばれました。遠く離れながらも気持ちのボランティアが少しでもできたらと願います。

ボランティア活動に参加することで仲間が増え、今は月2回の活動日をみんなが楽しみにしています。

手作り介護用品の作品を喜んで使ってくださる笑顔に励まされながら・・・
(C, M)

介護用エプロン



リハビリ用
にぎりっこ



☺活動に興味のある方は・・・

☆定例会 (ボランティアセンター「ぷらっと」にて実施)

・ 第2木曜 10:00～12:00

(この日は 13:30～15:30に
カフェを実施しています。)



・ 第3木曜 13:30～15:30

☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター「ぷらっと」

豊中市岡上の町2-1-15(豊中市すこやかプラザ内)

☎ 06-6848-1000 FAX 06-6841-2388

教職員のためのボランティア体験学習研修会

7月25日、すこやかプラザにて「教職員のためのボランティア体験学習研修会」が行われました。教職員の方々に具体的なボランティア体験を実際にしていただくことにより、総合的な学習の時間など福祉教育やボランティア体験学習を進める上での参考にすることを目的に開催しました。今年度は、豊中市内の小・中学校から10名の先生方が参加されました。



【体験学習】 *3コースより選択

1コース 車いす体験とインスタントシニア体験者の感想

実際に車いすに乗り、普段、車いすを利用されている方の視線や気持ちが少しは理解できたかなと思います。何より大切なのは『思いやり』の気持ちを持って接することだということがわかりました。これは車いすの方だけでなく色々な方にもあてはまることだと思います。普段の生活の中で、ハンディを持っている方々の気持ちに寄り添って何に困っているのかを、想像できるような生徒を育てていきたいと改めて感じました。

工夫をしてカルタ対決！



2コース 点字体験とアイマスク体験者の感想

目の不自由な方が様々な工夫をして生活をされていることを知り、『身体が不自由だからできない』と決めつけるのではなく、同じような物事に取り組むためにはどのような工夫が必要かということを考える大切さや必要性を感じました。

3コース 手話体験者の感想

聴覚障害者の方々がどんな時に不安になったり、困ったりするのかをお話いただいて、声をかけたり手助けをする必要性を感じ、子どもたちに伝えられたらと思いました。



名前を言えるように練習中…

ボランティア体験プログラム



ボランティア体験プログラムは、大阪府社会福祉協議会・市町村社会福祉協議会の共催で、大阪府内の社会福祉施設やボランティアグループ等の協力により、ボランティアを一層身近に体験してもらうことを目的としたプログラムです。

対象は小学生から社会人、高齢者と幅広く、7月1日～8月31日の期間で開催しました。豊中市内では、高齢者施設をはじめ、障害者通所授産施設、保育所、校区福祉委員会といった55施設（団体）でプログラムが実施され、その中の23施設において延べ184名もの市民の方々が活動されました。このような機会を通して、多くの市民の方々にボランティア活動が広がるよう期待します。



はじめての保育体験にドキドキ？

親子ボランティア講座

今年度の夏休みに 3 か所の地域福祉活動支援センターにて3種類の親子ボランティア講座を開催しました。手話サークル虹さんに手話の基本を教わり、歌を手話で表現しました。小学生は経験もあるのか覚えが早く、お母さん方も熱心に取り組まれていました。指の細かな動きを覚えて、手話で会話が出来るようになるにはどれくらいかかるのか?などの質問もありました。でも、「ジェスチャーで伝える体験」から、手話が出来なくても伝える気持ちと身振り手振りで伝える事を実感し、「誰でも出来ます!はじめましょう!」



との事。「質問コーナー」では、耳が聞こえない事で何に困るのか?「自動車のクラクションが聞こえず、危険な事になり

手話講座：庄本地域福祉活動支援センター
車いす体験：桜井谷地域福祉活動支援センター
点字講座：高川地域福祉活動支援センター

かねない事。」「すぐ横を自転車が追いついていく事が怖い」など、実体験を聞き、耳が不自由な方の気持ちが、よく



わかりました。大人も子どもも、思いやりと、ちょっとした気遣いが大切な事を実感する機会になったのではないのでしょうか。最後に庄本老人デイサービスセンターで「さんぽ」の歌を発表しました。「緊張したけど楽しかったです。また、やりたいです。」「お年寄りの笑顔をみて、こちらまで嬉しくなりました。」「特別な技能はないですが出来る事からボランティアをしていきたいです。」

などの意見も頂きました。胸が熱くなり心温まる賑やかな講座となりました。

ボランティアスクール入門講座

これから活動を始め方を対象に『福祉の町づくりとボランティア』をテーマにして、ボランティア活動の基礎知識を 3 日間にわたり学んでいただく講座です。延べ 35 名のご参加がありました。



～参加者の感想～

・何事も体験してみなければわからない事が多く、自身の体が自分の意思通りに動けることに感謝し、相手への思いやりが大切であることを実感しました。
これからのボランティア活動の参考にさせていただきます。

- ①6月4日(月)：講演「はじめませんかボランティア」
講師—吉田芳子さん
- ②6月11日(月)：体験学習(車いす・マスク・イヤホン)
講師—市社協登録ボランティアグループ
「みちしるべ」「ステッキ」
- ③6月18日(月)：ボランティア体験談など
講師—箕輪校区福祉委員会、市社協登録ボランティア
市社協登録ボランティアグループ「豊中アッシー」

☆陸前高田市ボランティア研修会に参加して☆

9月1日、2日（岩手県陸前高田市、大槌町、釜石市）

上野校区社協ボランティア 畑岡かつ子

東日本大震災から一年半が過ぎました。甚大な被害を受けた三陸海岸地域岩手県陸前高田市、大槌町、釜石市に実際に足を運んでみると、テレビで見たり、聞いたりするのとは大違いで、想像を絶する異様な風景を目にして言葉を失い、鳥肌が立ちました。美しく穏やかな海とは対照的に岸壁に乗り上げた船、高く積み上げられた廃材がれき、生活していた土台にも草がおいしげり見渡すかぎり荒野が広がっていました。人々はどこに行ったんだろうか、どこにいるんだろうか、まったく気もなくボツンボツンとひしゃげた鉄筋の建物が目の前に広がる惨状が、巨大津波の激しさを物語っていました。復興への道のりはまだまだ遠いと実感しました。

海岸沿いの町、陸前高田市の一本松、7万本の松原からたった1本、よくそこまで耐えることができた、その雄姿に感動しました。たくさんの方たちに勇気を与えたまさに「奇跡の一本松」です。今後、復興の象徴として後世に受け継ぐためモニュメントとして残されます。

市役所の職員の方々が語ってくれた体験が特に心に残りました。「最初に津波が押し寄せてきた時、私は妊婦さんと女性職員をまず最初に必死で引き上げ、助けることができました。しかし、すぐ目の前の若い男性の部下、32名が津波でさらわれていくのをどうすることもできませんでした。この時の悔しさ、辛さは今でも思い出します。」「どうか震災のことを忘れないでください。」と涙ながらに話してくださいました。

私たちは忘れてはいけません。これから多くの縁ある人たちに伝えていかなければと強く思いました。

岩手県陸前高田市に図書館を!!

☆陸前高田市図書館ゆめプロジェクト☆

豊中市社会福祉協議会では「震災を風化させてはいけません」という思いのもと、被災地のニーズに沿った形で支援を続けて参りました。

本の寄贈を図書館の再建に役立てるプロジェクトに賛同し、去る6月25日～7月31日の期間、ご家庭などで不要になった本の寄贈を呼び掛けたところ、皆様のご協力により12,145冊の古本を換金し、160,563円を再建に役立てていただくことができました。ご協力ありがとうございました。

陸前高田市では引き続きプロジェクトは行っております。詳細は下記のホームページを参照下さい。

〈参考〉陸前高田市図書館ゆめプロジェクトホームページ → <http://books-rikuzen.jp/>



つながった絆を深めよう!!

☆岩手県大槌高校と野球交流試合☆

昨年、ボランティアバスで交流した桜塚高校と大槌高校。

校章が同じ桜であることを縁に「さくら協定」を締結。

去る8月7日大槌高校野球部を招待し、豊中ローズ球場で交流試合を行いました。



今後も交流を深めていきます

岩手県陸前高田市応援イベント!!

☆陸前高田市応援フェア開催☆

9月29日、30日千里文化センター「コラボ」内で岩手県陸前高田市応援イベントを開催しました。

30日に予定をしていた陸前高田市長による講演会はあいにく台風の影響で中止となりましたが、両日、陸前高田被災状況パネル展、東北物産展、奇跡の一本松保存募金を実施し、ご来場の方々には陸前高田市を知っていただくことが出来ました。
※奇跡の一本松募金の報告はP.8「募金のお礼」ページをご参照下さい。

パネル展の様子



物産展の様子

「とよなか地域ささえ愛ポイント事業」が スタートしました！



平成 24 年 10 月から、活動を希望する高齢者が、高齢者への支援活動を行うことで、ボランティア活動の楽しさを知っていただき、活動者自身の介護予防の推進を図ることと、活動実績に応じたポイントが付与されることで参加意欲を高め、高齢者同士がささえあう新たな地域福祉の人材の育成につなげることを目的に、「とよなか地域ささえ愛ポイント事業」がスタートしました。

(主 催) 豊中市(健康福祉部 高齢者支援課)

(受託者) 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

(活動対象者) この事業に参加していただける対象者は、満 65 歳以上の市民(豊中市介護保険第 1 号被保険者)となっており、事前に説明会への参加と登録が必要です。



地域ささえ愛ポイント対象活動

- ① 豊中市内の介護保険施設等での高齢者支援活動
- ② 豊中市社会福祉協議会 小地域福祉ネットワーク活動の高齢者支援活動
及び ボランティアセンターの高齢者支援活動
※①②のうち市長が指定した活動
- ③ この事業に伴い実施する研修会等

活動の流れ

活動登録

登録される方は事前に説明会に参加いただき、登録用紙によりご登録いただきます。

ささえ愛活動

対象活動から希望される活動を選んでいただきます。

活動支援金申込

年度末、指定された期間内にご本人からお申込みいただきます。

活動支援金支払

ご指定いただいた銀行口座に振り込みます。

ポイントについて

活動実績に対しポイントが付与されます。1 回 1 時間程度の活動に対して、100ポイント、1日200ポイントを上限とし、年間5000ポイントを上限に、1000ポイント単位で活動年度にたまったポイントを活動支援金としてお支払いさせていただきます。
(1000ポイント=1,000円)

11 月以降の説明会の日程

第 1 月曜日、第 4 火曜日 10:00~12:00

豊中市すこやかプラザ 2 階 会議室にて開催します。

※ポイントカードは 1 年更新でポイントの繰り越しはできませんので、年度末に登録の更新を行ってください。



この事業をきっかけに、多くの高齢者の市民の皆さんがささえあい活動にご参加いただけることを願っております。

この事業に関するお問い合わせは
ボランティアセンター「ぶらっと」(☎6848-1000)まで

ボランティア訪問記

『障害者施設「青垣園」を訪ねて』

子育て支援グループ 「そよかぜ」

5月15日、私たちは奈良県大和高田市にある指定障害者施設「青垣園」へ施設見学に行きました。青垣園は、昭和52年に奈良県立授産施設として設立され、平成19年に民間施設となり、現在に至ります。事業所は大自然にかこまれていて、鉄骨造り3階建てで新築されたとても充実した施設です。

施設では、平均年齢50歳、最高年齢73歳の障害者の方々が、自立した日常生活、社会参加を営むことができるよう指導と訓練が行われています。作業所では、野菜作りなどの農耕作業が行われていたり、奈良県の神社の土産物「土鈴」の生産作業を一つ一つ丁寧に作る姿がありました。働く一人ひとりの眼差しは輝いていて、作業を丁寧に一生懸命に行っている姿には、心が打たれる思いでした。

職員の方々とのお話しの中で、とても印象的な言葉がありました。

「彼らは、『できない』のではない。『できない』のを『できるよう』な方法と時間を、我々が工夫しなければならないのです。」

私たちもボランティア活動をする中で、このような考え方を忘れずに、これからのボランティア活動にいかしていかなければならないと、今回の訪問で強く感じました。



『吹田市ボランティア連絡会訪問記』

市社協登録ボランティアグループ リーダー会

8月30日、登録ボランティアグループ有志で、吹田市ボランティア連絡会との交流会を行った。同連絡会は、吹田市総合福祉会館のボランティアセンター内にあり、市内のボランティアグループのメンバーが集まって、9月開催予定の“みんなの健康展”の準備中だった。午前中、当日の催しの一つである象さんタオルの作り方を教わり、豊中からのメンバー全員が挑戦し、無事立派な象さんタオルを完成。その後、別の部屋で昼食をご馳走になりながら懇談会が始まった。今回は特にテーマを設定せず、自由に懇談しようということで、ボランティア連絡会としての状況や課題などが話題となり、和やかな話し合いとなった。吹田市ボランティア連絡会は、市社協に来たボランティア依頼等をボランティア連絡会としてその対象グループに依頼をするというやり方で、事務局はそのバックアップの立場で、ボランティア連絡会に協力し、また、助成金も決まったグループに出されるのではなく、必要なグループがそれを確保するような体制になっている、とのこと。



完成した象さんタオルにニコリ

今回の交流会は、いろいろな面から非常に有意義であったと考えられ、今後も吹田市との交流の他、できれば他の箕面市、茨木市、高槻市等のボランティア連絡会とも交流会を行い、今後のボランティア連絡会の活動に役立てたいと思っている。



交流会では自由な意見交換ができました。

ボランティアはいま

ボランティア歴、早くも十数年になりました。最初、校区ふれあいサロンで歌体操をすることになり、歌体操グループ「さわやか」に入りました。そこで出会った故高橋先生に指導を受け、老人ホームでの活動に参加し、いろいろ教えていただきました。先生は私たちをどんどん引っばってってくれたのです。

先生が亡くなった後、施設での歌体操を誰かが引き継いで続けなければならないということになりました。今までは先生がされる通りに真似をするだけで良かったのです。今度は誰かが先頭に

立って話をし、体操をするのです。とまどいましたが、やめるわけにはいかないのです。この時が私にとって一番つらかった。だって、自信がないのですから。

施設の中にはいろんな人たちがおられます。しかし、すぐにわかりました。皆、寂しいのです。その人の目を見ていろいろお話をしていくうちに少しずつ心を開いていってくれました。去年、目の病気になり、そのことで施設の人たちに反対に私が励まされています。このような人たちに出会えたことは私の財産であり、宝だと今は皆さまに感謝しています。

市社協登録ボランティア 若林 智子

ちょボラサロン「えがお」

夏の暑さが一段落し、気持ちよく晴れた9月24日、ちょボラサロン「えがお」のメンバーは、介護老人保健施設「東雄苑」を訪れました。

「えがお」では、緑地公園清掃等、色々取り組んでいます。毎年9月には敬老月間として高齢者施設を訪問しています。今年はいきいき歌体操「さわやか」のメンバーにご指導、ご協力をいただき、練習を重ねてきました。

中秋の名月を頭に描き「うさぎ」「月」「虫の声」など秋の歌をご入居者さまと一緒に歌いました。色々な楽器で虫の音を表したり、祭りの太鼓や笛の音で幼い日々や故郷に思いを巡らせたひとときでした。

歌体操で体を動かし、身体も心も軽くなり笑顔で終わりました。

※ちょボラサロン「えがお」とは、精神障害当事者の方がボランティアの方とともにボランティア活動を実践していく場です。



ボランティアセンターぷらっとにおいて、ボランティア活動の啓発とボランティア同士の交流を目的に「ボランティアカフェ」を開催しています。

時間は毎回13:30~15:30となっており、現在

- 第1月曜 ステッキ…高齢者介護支援グループ
- 第2火曜 さわやか…いきいき歌体操活動グループ
- 第2木曜 小さな手…手作り介護用品作成グループ
- 第4金曜 みちるべ…外出支援グループ

の4つの市社協登録ボランティアグループに運営をお手伝いいただいています。

カフェオープンの日に豊中市すこやかプラザにお立ち寄りの際は、午後のひと時をボランティアセンターぷらっとの「ボランティアカフェ」で美味しいコーヒーとボランティアさんとの交流を楽しみませんか？スタッフ一同お待ちしております。



ボランティアさんがにこやかに迎えてくれます

コーヒー100円
☆お菓子つき☆



募金のお礼

＜東日本大震災＞

支援金として窓口でのお預かりと募金箱の設置を継続しています。お預かりしました支援金は、3月－138,600円、4月－44,630円、5月－2,501円、6月－4,850円、7月－10,876円、8月－21,436円、9月－514円でした。3月から9月末までの総額は223,407円で全額『赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」』として中央共同募金会へ送金しました。

＜九州北部豪雨災害＞

義援金として、募金箱を7月17日から8月末まで、ボランティアセンターぷらっと及び福祉の店「なかま」に設置し、7月30日には街頭募金も実施しました。多くの皆様のご協力で、募金総額は57,500円となり、日本赤十字社大分県・熊本県支部に按分して送金しました。

＜京都府南部豪雨災害＞

義援金として、上記同様2ヶ所に募金箱を9月3日から27日まで設置し、640円の募金がありました。日本赤十字社豊中市地区を通じて京都府支部へ送金しました。

＜奇跡の一本松保存＞

津波に耐えた陸前高田市『奇跡の一本松』を今後も復興の象徴としてモニュメント保存をするため、豊中市社協では岩手県陸前高田市応援イベントを通じてお届けする試みで募金活動を実施しました。市民の協力を得て集まった募金総額は1,575,237円となり、陸前高田市へ送金しました。

～今後の予定～



★ボランティア団体連絡会設立20周年記念 第20回 豊中ボランティアフェスティバル

11月18日(日)10:30～15:30 場所:豊中市すこやかプラザ

内容:ボランティアグループの紹介、ステージ発表、記念講演(講師:馬場 章夫氏)など

★2012ヒューマンバザーinすこプラ

11月18日(日)10:00～14:00 場所:豊中市すこやかプラザ2階デッキ広場

★年賀状ボランティア

11月15日(木)、22日(木)、28日(水)、29日(木)、12月7日(金)、10日(月)

いずれも10:00～12:00及び13:00～16:30 場所:豊中市すこやかプラザ 2階会議室

★ボランティアはじめま専科

・11月30日(金) 13:30～15:00

外出支援ボランティアグループ「みちしるべ」 場所:ボランティアセンター「ぷらっと」

＜2013年＞

★災害支援訓練 1月19日(土)9:00～ 場所:豊中市すこやかプラザ

★市社協登録ボランティア 新年の集い 1月29日(火)時間未定 場所:福祉会館

編集後記



豊中市社会福祉協議会のボランティアグループと近隣市の吹田市ボランティアグループとの初めての交流会を、吹田市総合福祉会館で8月28日に行い、感動する有意義な一日でした。今度は近隣市を豊中に迎えて住みよい町づくりを話し合い、感動を人に伝えられることの幸せや、伝えたいことを伝えることのできる場があるというのは幸せなことですネ!! (アクセス)